

平成 26 年度 北九州市営バスダイヤ改正について

1 ダイヤ改正の目的

交通局では、地方公営企業としての経営の効率化を図りつつ、市民の生活の足としての重要な役割を果たしていくために、平成 23 年度からの 5 ヶ年間の「北九州市営バス事業経営計画」を策定し、「運賃改定」や「ふれあい定期制度」の見直し等を実施してきた。

今後とも、「経営計画」に定める基本的取組方針である『安全な運行の確保と安心・快適なサービスの提供』・『健全な経営の維持』の実現に向けた取り組みを進めるためには、利用者の声や利用実態に合わせたダイヤの見直しが不可欠である。

このため、利用者へのより一層の利便性向上、及び経営の効率化を目的に、下記のとおりダイヤ改正を実施する。

2 改正予定日

平成 26 年 6 月 1 日（日）

3 ダイヤ改正の内容

(1) ダイヤ改正の概要

項 目	改正前	改正後	増 減	増減率
運 行 本 数	1,041 本	963 本	△78 本	△7.5%
実車走行距離	10,030km	9,200km	△830km	△8.3%

(2) 若松北西部の運行形態見直し

項 目	実 施 内 容
1 見直し路線	「岩屋・蜷住～大鳥居」の路線
2 見直し内容	若松北西部内のみを運行する形態へ見直し、地域外への折尾や二島方面へは、幹線と接する乗り継ぎ拠点で乗り継ぎを行う。 また、あわせて産業医科大学病院行のバスとも接続を行う
3 運行本数	・平日 47 便 ⇒ 20 便 ・土休日 20 便 ⇒ 12 便
4 運賃の見直し	・「かんぽの宿北九州⇄大鳥居」：230 円 ⇒ 400 円 ・「蜷住団地⇄大鳥居」：190 円 ⇒ 350 円
5 乗り継ぎ拠点	折尾方面行きの大鳥居バス停横の民有地を借用し、若松北西部路線への乗り継ぎ拠点として整備する

(3) 利便性向上に向けた実施内容

① 二島地区での乗り継ぎが不要な、若松区を東西に貫く直通便の増便

項 目	実 施 内 容
1 二島地区で乗換えを必要としない便の増便	<ul style="list-style-type: none"> ・若松西部地区 → 東部地区 (青葉台・学研都市) (本町・大橋通り) : 10便⇒15便 ・若松東部地区 → 西部地区 (本町・大橋通り) (青葉台・学研都市) : 10便⇒17便

② 宅地開発が進む学研都市地区へのアクセス向上

項 目	実 施 内 容
1 「学研都市～小倉」の路線新設	学研都市 → 小倉 : 4便 小倉 → 学研都市 : 4便
2 「学研都市→折尾駅」 通学時間帯(5～8時台)の増便	学研都市 → 折尾駅 : 12便⇒15便
3 「本城学研台～折尾駅」の増便	本城学研台 → 折尾駅 : 9便⇒12便 折尾駅 → 本城学研台 : 11便⇒12便

③ 産業医科大学若松病院へのアクセス向上

項 目	実 施 内 容
1 「高須・青葉台～産業医科大学若松病院」の路線新設	<ul style="list-style-type: none"> ・高須・青葉台 → 若松病院 : 4便 ・若松病院 → 高須・青葉台 : 4便
2 「戸畑駅～産業医科大学若松病院」の増便	<ul style="list-style-type: none"> ・戸畑駅 → 若松病院 : 2便⇒5便 ・若松病院 → 戸畑駅 : 3便⇒6便
3 各方面からの若松病院乗り入れ 本数の増便	<ul style="list-style-type: none"> ・若松病院 → 各方面 : 36便⇒47便 ・各方面 → 若松病院 : 32便⇒39便

(4) 経営の効率化に向けた実施内容

項 目	実 施 内 容
1 早朝・深夜時間帯の減便	5時・6時台、及び22時・23時台の減便
2 若松渡場発着便の減便	若戸渡船からバスへの利用減に伴う減便
3 路線の統合	「向田営業所発～(頃末経由)～折尾駅」と「日吉台～折尾駅」の路線を統合し、総運行本数を削減
4 若松北西部地域路線の減便	若松北西部地域路線内の <ul style="list-style-type: none"> ・「脇田～戸畑駅・若松渡場」 ・「かんぼの宿～(脇田経由)～二島駅」 の減便